

【保護者：アプリ配信】 【地域：回覧配付】



# 学校便り

佐渡市立金井小学校 令和7年9月29日 第6号

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> E mail : kanai-es@sado.ed.jp

## あいさつは人間関係づくりの潤滑油

校長 森 和人

8・9月の生活目標は「時と場に応じたあいさつ・言葉づかいをしよう」でした。9月は終わりますが、金井小学校では、年間重点生活目標を以下のように設定しています。

**時と場に応じたあいさつ・言葉づかいをし、みんなが気持ちよく生活できるようにしよう**

つまり年間通して「あいさつ」「言葉づかい」についての育成を図ります。この二つを重点目標としている理由は、目標の言葉のとおり「みんなが気持ちよく生活できるように」にするためです。

「人」と「間」で「人間」と書きます。人と人の間が潤うことで人間らしい生活ができるのだと思います。私は、その潤滑油として、あいさつが大切だと感じています。あいさつが交わせる関係には、豊かなコミュニケーションが生まれてくるでしょう。そこで大切になることが、相手を傷つけない言葉になります。言葉づかいに気を付けることで、みんなが気持ちよく生活できる関係性が成立するのでしょうか。

先日、学校運営協議会が行われました。その中で、あいさつに係る学校評価の児童と保護者の認識の違いが話題になりました。児童は学校内であいさつができて、学校外ではまだ不十分ではないか、ということです。実際に地域であいさつの声がけしてくださる委員から、「小学生であいさつを返してくれるのは半分くらいかな」「発達段階として、関係がうすい人とはあいさつしづらいのではないか」「大人が進んであいさつする姿を見せる必要がある」などの意見をいただきました。私も学校外で毎朝あいさつ運動をして、学校内とは違う同様の感じを受けています。

右の写真は、9月に実施した学校運営協議会の皆様と生活委員会の児童との協働によるあいさつ運動です。いろいろな時と場であいさつができるように、家庭・地域・学校で協働して、潤いある金井地区を目指せたらと思っています。

